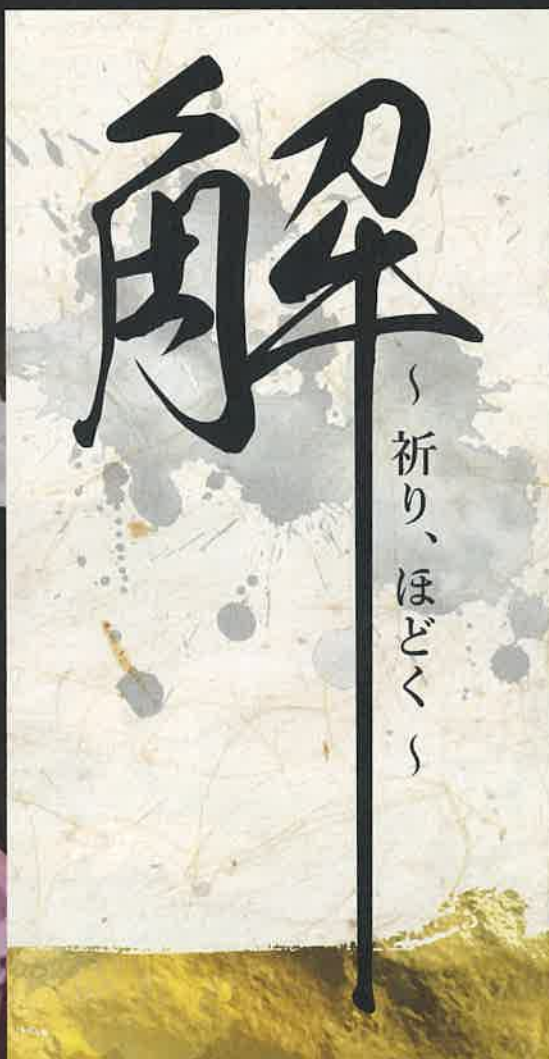




広島韓国伝統芸術院
第三回公演



2019年12月15日(日)

会 場：広島韓国会館 4 階ホール ※広島市東区東蟹屋町 7-9

昼の部：12 時半開場 13 時開演

夕の部：16 時半開場 17 時開演 ※各回入替え制 全席自由

前売り 3,000円 当日 3,500円 ※未就学児無料

チケットのお問い合わせ・予約

広島韓国伝統芸術院

TEL 080-1475-3141

FAX 082-281-0161

✉ yoohe@hotmail.com

主催：広島韓国伝統芸術院 主管：チハンサラム

後援：在日本大韓民国民団広島県地方本部 広島県日韓親善協会 広島韓国教育院 広島市 広島市教育委員会



朴裕恵

Yoohye Park

韓国伝統舞踊家 広島出身 在日三世
広島韓国伝統芸術院 代表
韓国伝統舞踊を金 一志に師事

人は誰しも愛する人がいる。この世に生を受けた瞬間から人生を終えるその時まで、人は愛するもののために祈り、自らを解こうとする。生きながら背負うものがない人は存在せず、過去や失くしたものの思いや葛藤を受け入れ、ほどき、今を生きる力に変える。愛するものが幸せになることを願う。それを人は祈るという。

日本では古くから節目に神社で手を合わせ、大切な場所には神棚を祀り、自然の中にも神がいると考え、人々は祈りを捧げてきた。広島では昨年の西日本豪雨災害などで多くの人が生と死に直面した。原爆投下、そして幾度の災害を乗り越えてきたこの広島で、国境を超え、世代を超え、この世に生きる全ての人々がクッを通してともに泣き、ともに笑い、明日を生きる力を得る、それが「解~かい~」。

クッとは ~굿이란무엇인가~

韓国の国家無形文化財である南海岸別神クッに代表される韓国の伝統的儀礼で、歌舞楽で神に祈りを捧げることを指す。第1部で自然に感謝し、先祖に感謝する。第2部で亡くなった人を偲び、第3部は思い出や魂と向き合い、第4部で共に泣き、笑う。そして第5部で演者と観客がひとつになり、明日に向かい生きる力を得る。韓国ソウルで活躍するテハンサラムを招き、現代的にアレンジされたクッで広島に祈りを捧げ、ほどく。



Daehan
Saram

テハンサラム 金星勲 / 辛承均 / 李浩潤 / 金東胤 / 尹現俊

韓国伝統音楽の大衆化をモットーに 1997 年に結成された国楽グループ。

今年で結成 22 周年を迎えた彼らは、韓国のみならず日本、アメリカ、フランス、台湾、シンガポール、中国など数多くの国内外公演を通して、新しい舞台を披露している。また、多彩なジャンルの音楽と文化を通して、伝統文化の新たなトレンドを創り出すために努力しており、メンバーの大半は韓国国家無形文化財第 82-4 号である南海岸別神クッの履修者である。



広島韓国伝統芸術院

広島で本格的に韓国伝統芸術を学ぶ場として 2008 年に設立。

広島を中心に、韓国伝統芸術の普及と発展を目指し、公演活動や指導など、精力的に活動を行う。国籍、年齢問わず、多くの生徒が在籍中。